

高品質の農産物をお届けすることが 綾瀬の誇り



峯尾晃会長

綾瀬市園芸協会

大都市に近い綾瀬市の農業は、安全で新鮮な野菜や果物をすばやく届ける近郊農業です。私たち園芸協会は、質の良い農産物を供給して「綾瀬市」を全国区にしたいとプロ意識をもって農業に取り組んでいます。

私は綾瀬の農家に生まれて綾瀬で育ち、サラリーマンを経て農業を継いでから35年続けています。父が神奈川県で初めて温室組合を作り、ハウス栽培を成功させました。私も朝採れのトマトやキュウリを販売したりマスクメロンの栽培を始めたり、新たな挑戦を続けています。周りの農家も、皆さんさまざまな努力をされています。たとえばトウモロコシは、「綾瀬ブランド」に認定されました。厳しい認定基準をクリアするためには苦労も多いと思いますが、そのために意識が高まってもっと品質を追求していけるはずです。

綾瀬では若い世代も農業に参入しており、未来に希望が持てます。これからも質の高い農産物を作るため、みんなで結束していきたいです。



養豚

大正7年ごろ、中ヨークシャー種という品種をイギリスから輸入したことをきっかけに養豚が始まりました。全国の品評会でも高評価を得るなど、品質・味ともに良質な豚肉です。



養鶏

綾瀬には、大正期に採卵養鶏が入ってきました。鶏卵の多くは直売所などを通じて市内で消費されており、地産地消の象徴であるといえます。



市民農園



家族や地域の人たちとふれあいながら土に親しみ、収穫の喜びを体験できる市民農園「ふれあい農園」が、市内6か所で運営されています。

援農ボランティア



農繁期に市内農家の農作業を手助けするボランティアです。3年間の研修を経てボランティアに認定し、農家からの依頼に応じて派遣します。

親子ふれあい 農業体験



季節に合わせたさまざまな農作物の種まきから収穫までを親子で行います。作業後の畑で食べる採れたて野菜の味は格別！12月には収穫祭を開催します。